

つながるスイッチ!!

久留米市社会福祉協議会



vol.17

支え合い推進会議

—その⑬—

「草野校区」の取り組み

支え合い推進会議の取り組みを紹介していくシリーズ第13弾。今回は「草野校区」をご紹介します。

草野校区社会福祉協議会

会長 宮崎 律志さん

草野校区まちづくり振興会

事務局長 上田 桂司さん

移動販売の検討

令和2年2月にスタートした校区の困りごとを支援する「草野支え愛クラブ」。ニーズ調査の結果に基づき、「ゴミ出し支援」と「買い物代行」の2つに絞って活動しています。ゴミ出し支援は少ないながらも定期的な利用者がありました。買い物代行の依頼は、ほとんどありません。ニーズが多かった買い物支援。なぜ依頼が少ないのか。支え合い推進会議では、その原因について話し合いました。

委員からは、「商品は自分の目で見て買いたい。買ってきてほしいものを詳細に説明するのが大変。そんな理由で買い物代行の依頼が少ないのでは」といった意見がありました。では、どうすれば買い物に困っている

人を支えることができるのか検討をはじめたとき、移動スーパーを運営する会社が地元のスーパーと契約して草野地区をまわるという情報が入ってきました。「支え合い推進会議が窓口となり、草野校区に移動販売の拠点を取り入れてみてはどうかと考えました」と宮崎さん。しかし拠点を設けても、利用されなければ意味がありません。導入に向けてまずはどの程度ニーズがあるかを把握するため令和4年8月、全世帯を対象にした買い物アンケート調査を実施。522枚（回収率・84%）の回答がありました。アンケートの結果、移動販売を「今すぐ利用したい」世帯が26軒、「たまに利用したい」世帯が119軒。「利用したい」と思っている世帯のために始めよう」と宮崎さんは決断したそうです。

移動販売スタート

アンケートの結果を踏まえ、今すぐ利用したいという人が多く住んでいる場所を拠点として4か所選定し、まずはお試しでの移動販売がスタートしました。野菜、果物、生鮮食品、惣菜、パン、菓子、日用品などの商品があり、季節の商品も充実。予約注文も可能です。移動販売の利用者は、1か所平均10人程度。「まとめ買いができて便利」



移動販売車に積まれている商品の一部

「遠くまで買い物に行く必要がなくなった」という声以外にも、「移動販売を待つ間のおしゃべりが楽しい」「色々な人と会えるから移動販売の日が楽しみ」という声もあり、買い物ニーズを満たすだけではない効果も生まれているようです。「近所の人がお年寄りに付き添って販売所に来たり、買った品物を家まで運ぶのを手伝ったり…。あちこちの拠点で、支え合いの光景が見られて嬉しかったです」と上田さん。「買い物する人同士の交流もできて、まるで屋外サロンのような空間です」



筑後草野駅での移動販売の様子

と宮崎さん。「草野はこういう
支え合いができる地域なんだと
改めて知ることができました」と
お二人は嬉しそうに話されます。
「うちの近くにも来て欲しい！」
というリクエストもあり、次年度
からは、販売場所を2か所増やす
予定です。

活動して思うこと、 これからのこと

● 宮崎さん

移動販売の活動を今後も継続
させていきたいです。本当は車で
買い物に行けるけど、将来の
ために移動販売をなくし
たくないで利用している
という人もいます。

「移動販売が来る水曜は、
刺身を買って晩酌をする日
だ」と話す人や、買い物をした
後そのままだいいききサロン
に参加する人もいます。
ちなみにその日のサロンは、
いつもより参加者が多かつ
たそうです。移動販売を
きっかけに色々な支え合い
ができ、交流が増え、校区
の人たちの日々の楽しみ
も増えました。校区全体
に活気があふれている
ように感じ、嬉しく思っ
ています。

● 上田さん

移動販売車が来る回数を
増やし、週に2回まわって
もらうことが理想です。
支え合い推進会議での移動
販売の検討は、市内でも

先駆的な取り組みではないでしょ
うか。販売主にも利益が還元され
ないと移動販売自体の存続が
難しいので、地域と企業の双方に
メリットがある仕組みをつくって
いく必要があります。他の校区
でも取り入れられるよう、草野
校区がまず参考になるような取り
組みをしていきたいですね。

取材を終えて

前回、草野校区に取材に伺った
のが、ちょうど1年前。その時に
すでに、買い物支援の難しさ、移動
販売業者さんとの連携、事前に移動
販売の利用者を把握することが
大事だと語っていた宮崎さん。
この1年で、アンケート調査も
行い、実際に移動販売をスタート
させていた草野校区のスピードと
行動力に本当に驚きました。何で
こんなに活動のスピードが速いん
ですか？とお尋ねしたところ、「会議
の委員全員が、校区をよくしたい
と同じ目的を持っているからだよ」
と、サラッとお答えされるお二人。
かっこいいです！「まずはやって
みよう」を合言葉に、草野校区は
まだまだ進化し続けます。



上田 桂司さん

宮崎 律志さん

グラウンドゴルフに水彩、ゲートボールなど多趣味な宮崎
さんは、最近ダーツの指導者資格も取得。また新たな趣味
として、毎日脳活ドリルをして、脳を鍛えているそうです。上田
さんはブーゲンビリアを自宅の温室で育てています。「花は
咲かせることができたけど、温度調節が難しく予定より早く
咲かせてしまった。来年は成人式に咲くようにタイミングを
合わせたい」と意気込みを話されました。

- ニーズが活動に結びつかない原因を分析し、
新たな方法での取り組みを開始した
- 移動販売をきっかけに住民同士の交流が増え、
買い物ニーズを満たすだけではない
新たなつながりが生まれている

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34

TEL: 0942-34-3035

FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net

H P: <http://www.heartful-volunteer.net>

つながるスイッチ!!は
HPでも
webマガジンでも
掲載中

久留米市社会福祉協議会

検索

webサイト

[note---つくる、つながる、とどける。]で
「つながるスイッチ!!」を検索してください!